

# Medical Library

書評新刊案内

本紙紹介の書籍に関するお問い合わせは、医学書院販売・PR部(03-3817-5650)まで  
なお、ご注文は最寄りの医学書院特約店ほか医書取扱店へ

## 京都ERポケットブック 第2版

洛和会音羽病院 救命救急センター・京都ER 編  
宮前 伸啓 ● 責任編集  
荒 隆紀 ● 執筆

A6・頁528  
定価:4,180円(本体3,800円+税10%) 医学書院  
ISBN978-4-260-04988-7

評者 齊藤 裕之  
山口大病院准教授・総合診療部

研修医と一緒にERで診察をしていると、症状から鑑別診断を考え、初期対応として何を行うべきかわからず立ち尽くしている状況を時々見ます。研修医の成長段階を質的研究すると、それは「立ち尽くすフェーズ」と言われ、そういえば若いころの私たちがERで何をしたら良いかわからず、立ち尽くしていた時期があったことを思い出します。私たち指導医は、研修医がなぜ立ち尽くしているのだらうと、彼らの立ち尽くす原因を鑑別診断するのですが「vitalが変化している患者さんにまずは何をしたら良いかわからない」「主要な症状からどのような疾患を鑑別したら良いかわからない」「疾患は想起できているが、診断を確定するための検査方針がわからない」など研修医が立ち尽くす原因はさまざまです。中には何がわからないのかもわからないといった答えさえも聞かれますが、そういった「立ち尽くすフェーズ」を上手に乗り越えさせてくれるのが、この『京都ERポケットブック 第2版』です。救急初期対応の最初のステップは普段通りの落ち着いた思考でいること。青地に黄色の文字でERと書かれている表紙は「ええ(E)からリラックス(R)してや」と、優しく関西弁で語りかけてくれています。

本書の内容はMBAホルダーの荒隆紀先生が執筆ただけあってさまざまなフレームワークを活用し、臨床現場でカオスになりがちな種々雑多な行動をわかりやすくまとめてあります。患者のファーストタッチから緊急性を察

知し呼吸と循環を安定させる primary survey (初期評価)、状態を安定させた上で鑑別診断を挙げツボを押さえた問診と身体診察を行う secondary survey (二次評価)は本書を通した一貫した行動目標となっており、私たちが常日ごろから研修医への指導や初期対応のセミナーで伝えているメッセージです。実は私たち指導医の行動も、このような型に基づいたシンプルな構成になっていることを研修医の皆さんに知ってもらえとうれしいです。「なんだ、いつも同じ原則で動いているだけじゃないか」と気付くことができると、立ち尽くすフェーズから次のフェーズに移行することができます。

第2版になりバージョンアップした点は、各症候のQ & Aが充実した点です。救急外来という限られた時間軸の中で診断・初期治療を行うことは、どうしても不確実性の要素が含まれてきます。だからこそ、研修医の疑問を指導医との議論で補うことで理解を深めていくわけですが、本書は診察中の研修医がよく質問してくれる内容を、文献を添えた説明やフレームワークを活用しながら解説しています。指導医にとっても指導方法の参考になるので、研修医から質問をされる前にチラッと目を通しておくと安心です。

第2版京都ERは「立ち尽くすフェーズ」から脱却する研修医だけではなく、彼らの指導をサポートする指導医にもお薦めの一冊です。みんな、ええ(E)本やからレジデント(R)にお薦めしてや。

### 研修医の「立ち尽くすフェーズ」を乗り越えさせてくれる書



## 教育の効果・効率・魅力を高めるために 第15回日本医療教授システム学会総会学術集会の話題より

第15回日本医療教授システム学会総会学術集会(3月16~17日、東京都品川区)が浅香えみ子会長(東京医歯大病院:右写真)のもと、「15年目の節目として、医療教授システム学」をテーマに開催された。本紙では、教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法・プロセスであるインストラクショナル・デザイン(ID)について取り扱ったシンポジウム「インストラクショナル・デザインの普及と効果」(座長=熊本大・鈴木克明氏、慈恵医大病院・万代康弘氏)の様態を報告する。



● 大会長講演を行う浅香えみ子氏

◆インストラクショナル・デザインを活用し、継続的な授業改善をはじめに登壇した杉木大輔氏(獨協医大埼玉医療センター)は、教育効果・効率の向上と指導医の負担軽減のためには診療の標準化と可視化が必要であると分析し、所属する救命救急センターで行った研修医教育の取り組みを紹介した。同センターでは、作成した診療プロトコルを学習管理システム(LMS)とグループウェア上で共有、プロトコルを随時アップデートすることで診療を標準化。全ての指導医が診療プロトコルを参照しながら指導を行うことで、指導内容の抜け漏れが減少し、研修の均てん化が促進されたと話す。また診療プロトコル以外にも、課題や業務マニュアルなどの資料をLMS上で研修前に共有しておくことで、研修医に自主学習を促し、OJTの時間を確保しているとの工夫を挙げた。今後に向けて氏は、「知識だけでなく、救急基本手技の習得にもLMSを活用していきたい」と目標を語った。

愛知県立大の河邊紅美氏は、看護管理者の立場から医療者教育に携っており、ID活用事例として①組織へのID普及事例、②他職種へのIDを取り入れた研修の設計事例、③新人看護師のOJT教育への応用の3例を挙げた。とりわけOff-JTでの学びをOJTで生かすためには日々の業務の振り返りが大切であると話す氏は、③新人看護師のOJT教育への応用において、日常的に行いやすい短時間の振り返りを、デブリーフィングとしてGAS法(情報収集、分析、まとめ)を用いて行ったと説明。デブリーフィングによって相手を褒め、認めることは自己効力感やモチベーションを高める効果があるため、指導者は学習者の日々の看護実践を把握し、良い取り組みはすぐに褒めること。そして、その積み重ねによって互いに承認し合う良い職場風土を醸成することが大切であると強調した。

次に北海道科学大薬学部藤本哲也氏は、薬剤師教育課程におけるIDの取り組みとして、同大独自の科目であり1年次前期に開講する「薬学生入門」を取り上げた。学生が大学での学習やコミュニティへ円滑に参加できること、グループワークでの役割や責任を認識すること、を目標に設計されていると氏は述べ、役割分担して調べた知識をグループ内で交換し、知識を統合して理解度を高める学習方法であるジグソー法と問題解決型学習を取り入れたグループワークの実践を紹介した。その一方で今後の課題に、同学部におけるID活用が道半ばであることを挙げ、IDに基づく継続的な授業改善をするために他の教員と協働していきたいと意欲を示した。

続いて登壇したのは救急救命士教育を行う三上剛人氏(吉田学園医療歯科専門学校)。同施設で行ったモデリング型演習の失敗事例を会場に共有しながら、失敗の原因を検証した。モデリングは他者の行動の観察と模倣によって行われ、①注意(対象に注意を向け観察)、②保持(観察した内容を記憶)、③運動再生(記憶した動きを模倣)、④動機付け(行動に対する肯定的な結果による動機付け)の4つの過程より成る。失敗事例の演習は見本動画を提示し手技を模倣させるという③のみに着目して設計されており、①②④が不十分だったため、学生が見本動画の動きを十分に再現できずいたと氏は分析した。「完璧な授業設計を最初から求めるのではなく、実践と分析の繰り返しによって良い授業を作り上げていく過程が必要だ」と述べ、今回の失敗を踏まえた授業のアップデートへの意気込みを語った。

その後行われた総合討論で座長の鈴木氏は、海外と比較すると日本人はPDCAサイクルを回すのが苦手であり、設計段階で完璧を追求しないことが求められると述べ、「とにかく実践してみること。それから分析し、改善することを意識してほしい」と、シンポジウムを締めくくった。



● シンポジウムの様子

## ジェネラリストを目指す人のための 画像診断パワフルガイド

第2版



全身の画像診断を1冊で解説する本邦唯一のパワフルガイド、8年ぶりの全面改訂。ジェネラリストとして知っておくべき疾患の病態生理や病理の知識を踏まえて、それに対する画像診断を解説する基本コンセプトを継承。各章で鑑別診断(診断アプローチ)の考え方をまとめた頁も新設。タイトル項目の疾患には3段階の難易度レベルを示し、読者がレベルに合わせて学習できるように配慮。タイトル疾患数は381→406に増量、PoweUp欄で関連疾患をできる限り補強し、大幅にボリュームアップ!

好評

著 山下康行

くまもと県北病院理事長(前熊本大学放射線診断学教授)

### この一冊で全部位の画像がわかる! 待望の全面改訂版

● 定価12,100円(本体11,000円+税10%) ● B5 頁880 写真2615・図273 2022年  
● ISBN978-4-8157-3054-3

医学書院 ウェブサイトで何ができるの? 医学界新聞 学会情報 書籍 閲覧 check 立ち読み

今日の状況・明日への動向を捉え、病院組織のマネジメント向上を目指す

## 「病院」の教科書 第2版 組織・機能とマネジメント

今、医療界は大変厳しい時代の最中にあり、なかでも病院にかかわる人には、その全体を把握することが求められている。本書はその要請に応えるべく、多機能で複雑かつ高い専門性により把握しにくい病院医療の組織・機能とマネジメントの全貌を、隅々まで体系的に理解できるように作成された。すなわち、「病院の運営・経営の向上を目指し病院の組織・機能とマネジメントを体系的に理解するためのテキスト」である。

編集 今中雄一

